

## 『国連研究』第26号 原稿募集

編集委員会

### 日本国際連合学会会員の皆さま

『国連研究』第26号（2025年6月刊行予定）の原稿を下記の要領で募集いたします。

#### I. 募集する原稿：①特集論文、②独立論文、③政策レビュー、④書評論文、⑤書評

##### ① 特集論文

第26号のテーマ：「国連と秩序構想」（仮）

（趣旨説明）

果たして国連は、原加盟国による秩序構想の客体に過ぎないのか、それとも、自ら秩序構想を提示し、国際社会の構造・制度・アクターに影響を与えることのできる存在なのか。

第二次世界大戦中に国際連盟に替わる新たな国際組織設立の構想が持ち上がり、ダンバートン・オークス会議、ヤルタ会談、そしてサンフランシスコ会議を経て成立した国連は、国際平和の維持は英米中ソが中心となってこれを担うという「四人の警察官」構想をはじめとする戦後秩序構想の一つの具現でした。実際、国連憲章には「武力不行使」、「人権の国際的保障」、「人民の自決」、「紛争の平和的解決」など、戦後の国際秩序の構造・維持運営において重要な概念が原則・具体的規定として盛り込まれました。

他方で国連は、特に冷戦終結以降、国内紛争、人道危機、気候変動、国際テロ、パンデミックなどの様々な重要課題に直面し、都度その存在意義を問われ続けており、国連事務総長は、加盟国などの要請を受ける形で「平和への課題」「より大きな自由を求めて」「私たちの 共通の課題」などの秩序構想を適時提言してきました。2023年7月に発表された「新しい平和への課題（A New Agenda for Peace）」は、地政学的緊張と大国間競争を特徴とする現状の中、さまざまな分野での多国間協力を呼び掛けています。その意味では、戦後秩序構想の客体たる国連自身が、グローバル化した国際社会の諸課題に対応し得る秩序構想を提起する役割を果たしてきたともいえます。

それでは、「国連という秩序構想」と「国連による秩序構想」はいかなる関係にあるのか。前者は後者を促進しているのか、それとも阻害しているのか。あるいは、後者は、前者とは切り離され発展を遂げた国連の自律性・独自性の一つの現れなのか。そもそも国連は、「秩序構想」の提言者たり得るのか。本特集では、国連と「秩序構想」との関係性を思想的・歴史的・政治的・法的に捉えることで、国際秩序（あるいはグローバル秩序）における国連の役割・機能・存在意義を問い直し、その秩序構想がもたらす政治的・組織的・法的インパクトを明らかにすることを目指します。

今回の特集は、本学会の2024年度研究大会の共通テーマと連動させたものですが、その報告・討論メンバーや内容に限らず、広く会員の皆様からの多彩な論文投稿に期待しております。国際法、国際政治学、公共政策、史学などからの考察はもちろん、実務に携わる方からの投稿も歓迎いたします。

##### ② 独立論文

特集テーマにかかわらない書下ろしの論考を受け付けています。

### ③ 政策レビュー

実務家の方々による現場の目を通した論考を募集いたします。国連における政策、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。

### ④ 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の編著書（和文・欧文）を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

### ⑤ 書評

一冊の編著書（和文・欧文）が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去2年以内に出版された学術書を対象とします。

## II. 応募方法

各種論文を投稿する際には、まず、タイトルと趣旨（800字程度）を下記のアドレスまでメールでお送りください。また、書評執筆の申し込みまたは書評対象候補の推薦についてもメールにてお知らせください。

文教大学 杉浦功一

E-mail: ksugiura@bunkyo.ac.jp

## III. 原稿掲載までのプロセス

各種論文の応募タイトルと趣旨、また、書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦をメールにて編集委員会にご提出ください。検討のうえ、編集委員会が執筆の可否を決定いたします。「執筆可」の場合には、『国連研究』の執筆要領に沿って原稿をご執筆いただき、締め切り日までに完成原稿を提出していただきます。投稿された原稿は、編集委員会が依頼する二名による査読を経て、編集委員会が最終的な「掲載の可否」を決定いたします。なお、審査対象となる原稿は、①特集論文、②独立論文、③政策レビュー、④書評論文、の4種類です。書評は査読の対象外ですが、書評を含むすべての原稿に対して、修正や題目の変更など原稿の内容にわたる改訂を求める場合があります。また、編集委員会の判断により、ご希望のセクションとは異なるセクションでの掲載の可能性があります。

## IV. 各種応募ならびに完成原稿の提出の締め切り日

- ・各種論文の応募（タイトルおよび趣旨）：2024年7月31日（水）
- ・書評の執筆申し込みと対象文献の推薦：2024年7月31日（水）
- ・完成原稿の提出：2024年11月25日（月）

## V. 執筆要領・編集要領について

執筆要領ならびに編集要領は、学会ホームページに掲載されておりますのでご確認ください。